

議 事 録

件 名	第23回自殺予防対策委員会	
日 時	令和2年1月31日(金) 15:00~16:00	
場 所	久留米市役所14階会議室	
出席者	委 員	内村委員長、大治副委員長、中島委員、樋口委員、石井委員、漆原委員、川口委員、高田委員、鹿田委員、田中委員、石橋委員
	事務局	伊藤主幹、野口主査、小島 安全安心推進課 今村課長、岡主査、井上
欠 席 者	別府委員、岩橋委員、田尻委員	
傍 聴 者	なし	
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 正・副委員長の選出について 3. 報告事項 (1) 対策委員会の役割と今後の主なスケジュールについて(資料1) 4. 協議事項 (1) 具体的施策(取り組み)について(資料2~4) (2) 今後のデータ収集について(資料5~7) 5. その他 6. 閉 会 	
質 疑	<p>【開会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より開会 <p>【正・副委員長の選出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内村委員長・大治副委員長を選出 ・傍聴者の確認「なし」 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策委員会の役割と今後の主なスケジュールについて <p>質疑応答はなし</p> <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的施策(取り組み)について(資料2~4) 	
委 員 長	(資料4-3) 久留米市の死因で自殺が第1位なのは、15~39歳なのか。	
事 務 局	<p>市で把握している、平成23~27年のデータでは15歳~39歳が1位であった。10~14歳は1位・2位に入っていない。</p> <p>全国では平成30年は10~14歳でも自殺が1位となっている。</p>	

議 事 録

委 員 長	平成30年の10～14歳の自殺者数はわかりますか。
委 員 ①	平成30年は高校生が3人、大学・専門学生等が4人であり、15歳未満などの小中学生はいなかった。
副 委 員 長	(資料4-4) こころの応援カードの中に、LINE相談とあるが、対応状況などはどうですか。
事 務 局	こころの応援カードに掲載しているのは、外部が実施している相談を掲載しているので、相談件数などは把握できていない。子どもや若者はLINEなどのSNSを使うため、電話よりも相談は多いのではないかと思います。
副 委 員 長	このような相談は対応が難しいのではないかと。 年齢やどんな人物なのか対策が難しい。とりあえずつながることが大切と思う。
事 務 局	自治体でLINE相談をしているところもあるが、本市はまだそこまで至っていない。とりあえずはつながることが大切だと思い、掲載しています。
副 委 員 長	全国的な件数などもわかっていませんか。
委 員 ①	全国のデータでは、相談は圧倒的に女性が多いといわれており、今は電話よりもSNSの相談のほうが多いといわれている。相談しやすいツールなので比較的軽い相談が多いとデータが出ています。
事 務 局	平成30年の国がまとめたデータでは、SNSの相談は2万2000件が全国で寄せられており、19歳以下が44%を占めている。
副 委 員 長	では、若年層の自殺対策には有効である可能性が高いとの事ですね。
委 員 ①	県レベルでは、自治体独自で相談事業をしているところがあるが、市町村レベルでは人材の確保の面などの課題もあり、実施しているところは少ない。 【協議事項】 ・今後のデータ収集について(資料5～7)
委 員 長	うつ病が広く認知されているので、うつ病についてどう思うかの設問をなくす。設問の表記をうつ病ではなく、心身の不調とする。との事でよいか。
事 務 局	そのとおりです。

委員	②	心身の不調となれば、うつ病だけでなく体の病気によるものも含むのではないか。
事務局		うつ病に限らず、幅広く質問をしたいと思い、このように表記を提案した。
委員長		難しいところですね。うつ病はまず体の症状からくる場合もある。こころの不調としてしまうと、体の不調でうつ病に気づく場合もあるので、狭めてしまう。 しかし、心身の不調とすると身体の病気の回答をしてしまう。うつ病では、うつ病だけをターゲットにしてしまう。
副委員長		こころの不調と絞ってしまうのはどうか。明確に「こころ」と書くと市民もわかりやすいのではないか。心身とすると専門的になってしまうので、市民にはわかりにくい。
委員	①	この表記については、わりやすいように補足の説明を加えるなどしていきたい。何が体調不良とわからないときに、心身の不調として広く表記してはどうかと考えている。今後表記については検討したい。
委員長		心身の不調についてのソフトな質問のあとに、いきなり自殺したいと思うかななどの質問が来ている。また、市民の知識によって答え方が変わってしまうこともある。また、18歳以上を対象としているが、児童虐待や学校安全は18歳以上でアンケートを取れるのか。
事務局 (安全安心)		年齢に関しては、再認証を見据えて、29年度のみ17歳以下にも調査対象を広げた。しかし、保護者が代わって記入した調査票が多く、正確なデータを表していないのではないかと指摘があった。今回は、17歳以下のお子さんを持つ家庭に対して、子どもに関する設問で質問したいと考えている。
委員長		自殺対策委員会では、19歳以下の自殺が増えているにもかかわらず、18歳以上のみの調査となると、自殺の現状と相反する結果となってしまう。 子どもはアンケートに回答しないとの事だが、高校生以上は出来ると思う。 LINE相談など、どのような窓口を利用したかなどもデータが取れると思うし、中学生に「死にたいと思ったことがあるか」と聞くと3割が「ある」と回答したとのデータもある。10代の自殺が増えた現状を踏まえると、せめて15歳以上からアンケートをとらないと、自殺予防対策委員会の意見を無視する形となってしまうが、どうですか。
事務局 (安全安心)		実施するのは来年度となるので、それぞれの対策委員会で出た意見を集約して、検討したい。
委員	①	質問の中で、「家族や知人の不調を知ったとき」とある。子どもは親と一緒に病院や相談窓口へ行くことがあるので、保護者への質問事項で子どもの相談状況を把握

<p>委 員 長</p>	<p>するなど、工夫をしてみる余地があると思う。</p> <p>高校生になると、親よりも友達に相談するデータもある。 だから、LINE相談などもあると思う。知人は友人も含むと思う。 自殺予防対策委員会では、対象者については強く主張しないといけないと思う。 委員会全体としては、子どもの自殺はたいした事はないと思われるかもしれないが、この委員会では子どもの自殺が増えている現状を考えて、せめて15歳以上にアンケートをとることを強く要望したい。</p>
<p>副 委 員 長</p>	<p>全体的に表現が難しい。易しい表現にしないと、15歳～18歳まで対象者を広げるとすると、回答に困るのではないかと思う。 かみ砕いた表現にしたほうがよいのではないかと思う。</p>
<p>委 員 ①</p>	<p>今後検討したい。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>うつ病の認識についての項目は削除する方向で、「心身の不調」の表現と対象年齢については事務局で今後検討してもらう方向としたい。</p>
<p>委 員 ①</p>	<p>案ができたなら委員長・副委員長に相談させていただきたい。 また、次回の委員会の際に提案させていただきたい。</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久留米市の自殺データ（速報）について
<p>委 員 長</p>	<p>平成31年の19歳以下の自殺者は確定しているのは1人との事で、平成30年だけは特に9人と高かった様子ではあるが。</p>
<p>副 委 員 長</p>	<p>平成30年は9人もいるので、潜在的には多くの人がいるとの事ではないか。</p>
<p>委 員 長</p>	<p>久留米市は人口動態統計でデータを見ているので、更に下がるのではないか。 期待が持てる結果である。</p> <p>【閉会】</p>